

2. 事業の概要と成果	
(1) 上位目標の達成度	<p>「小児医療サービスの供給側（医療施設）の技術が向上し、村落健康ボランティア等の健康啓発活動を通じて小児医療に関する正しい知識が住民に定着することで、5歳未満児の死亡率・疾病率低減に貢献する。」</p> <p>2017年度に実施した小児に関する臨床研修とトレーナー研修を通じ、小児専門医が配置されていないヘルスセンター及び郡病院レベルにも、小児医療知識を習得した人材が育成された。また、養成されたトレーナーは、病院での実践の傍ら、養成研修後すぐに研修講師としても活躍し、知識・技術の定着化が進んだ。村落健康普及員への研修も進み、2年次・3年次に向けて村落での普及活動を開始する準備ができた。</p> <p>これらを通じ、村民が施設サービスを適切に利用することで、今後5歳未満児の死亡率・疾病率低減につながる。</p>
(2) 事業内容	<p>1. 5歳未満児に対する診療技術の向上</p> <p>1-1. 小児疾病統合管理システム（IMCI*） トレーナー養成研修 実施日：9月4～8日（5日間） 内容：中央保健省職員と県保健局職員をトレーナーとし、IMCI トレーナー研修テキストに沿った、座学、ロールプレイ、ケーススタディ、県病院での実地研修、臨床監督方法論の講義などを行った。 受講者：ファパン県県病院職員、ソン郡およびファムアン郡郡病院職員 合計14名</p> <p>* IMCI: WHO や UNICEF が、医療資源の限られた地域で使用を推奨している、5歳未満児の死亡原因の上位をしめる下痢や肺炎に重点をおいた診断ツール。</p> <p>1-2. 5歳未満児診察用の医療備品の配備 内容：医療施設でのアセスメントを経て、最終医療備品リストをレビューし、県保健局を通じて購買し、各施設へ配布した。 備品受領施設：郡病院2箇所、ヘルスセンター11箇所 【添付書類③参照】</p> <p>1-3-1. IMCI 臨床研修 【追加実施1回（2017年7月1日付変更報告済み）】 実施日：5月22～26日（5日間） 内容：中央保健省職員と県保健局職員をトレーナーとし、IMCI テキストに沿った、座学、ロールプレイ、ケーススタディ、県病院での実地研修などを通じて参加者がトレーナー養成研修（活動1-1）を受けるための基礎知識・技術を習得・向上させた。 受講者：ファパン県病院職員、ソン郡およびファムアン郡病院職員 合計14名</p> <p>【郡レベルでの研修4回：計画通り】 実施日： ファムアン郡（2017年10月2～6日、2018年1月22～26日） ソン郡（2017年9月25～29日、2018年1月15～19日） 内容：IMCI トレーナー養成研修（活動1-1）を受けた職員がトレーナーとなって、IMCI テキストに沿った、座学、ロールプレイ、ケーススタディ、郡病院での実地研修などを行った。 受講者：ソン郡およびファムアン郡病院職員、ヘルスセンター職員 計34名</p> <p>1-4. ヘルスセンター・郡病院における共同技術監督 実施日：6月5～9日（5日間）</p>

内容：1-1にてトレーナー養成研修を受けた県病院職員による郡病院技術監督、同じく1-1にて養成した郡病院職員によるヘルスセンター（4か所）技術監督に外部小児医療専門家が同行し、技術監督能力向上のための実践的アドバイスをを行った。【添付書類②参照】

2. 村落における小児医療に関する正しい知識の普及

2-1-1. 村落での小児疾病に関する意識調査とニーズアセスメント

実施日：3月13～17日（ファムアン郡）

3月2～3日，4月4～7日（ソン郡）

対象：県・郡保健局職員と合同で以下の調査を行った。ヘルスセンター職員への聞き取り9か所，VHCメンバーへの聞き取り9か所，5歳未満児の養育者への聞き取り16村（ソン郡，ファムアン郡）

2-1-2. 情報・教育・コミュニケーション（IEC：Information, Education and Communication）教材の作成

内容：VHCが村落にて住民を対象にした教育活動において使用するフリップチャートの企画・製作，健康普及メッセージをプリントしたTシャツ，ポスターを作製し，配布した。

配布物および対象：フリップチャート（112村と各医療施設），ポスター（ソン郡34村），Tシャツ（全VHC研修参加者および県・郡保健局職員・ヘルスセンター職員）

2-2. 健康教育担当者養成研修

実施日：5月29～31日

内容：前事業地チャンパサック県からトレーナーを招聘し，場の雰囲気づくりやファシリテーターとして効果的な健康教育を提供するノウハウについて研修を実施した。村落で健康教育を提供するVHCを指導する能力の強化を行った。

受講者：ソン郡，ファムアン郡およびフアパン県の健康教育担当者

合計16名

2-3 VHC研修

[2-3-1 VHC研修および2-3-2 VHVおよびラオス女性同盟研修を合併]

内容：各参加者の役割の再確認，健康教育内容の学習，発達モニタリング，身長体重計の使用法訓練などを行った。

実施期間と回数：2017年9月から2018年1月にかけて，4日間の研修を，ソン郡で6回，ファムアン郡で12回実施した。

参加者：ソン郡171名，ファムアン郡393名（VHCメンバーおよびグループ村長[複数の村を統括する立場]）

2-4. 村落保健活動に必要な備品の配備

内容：村落レベルの小児栄養チェック能力を高めるため，体重計・身長計（一体型）および体温計を各村に設置し，適切な使用・管理方法をVHC研修（活動2-3）にて指導した。

配布物および対象：ソン郡29村，ファムアン郡69村（医療施設がある村は配布対象から除外した）

2-5-1. VHVによる村落での健康普及教育サポート

[変更]本活動は，活動2-3のフォローアップとして予定していたが，活動2-3が年度最終月（2018年1月）まで実施していたため，2017年度中

	<p>の実施はなかった。(2018年から本格的に実施する計画である。)</p> <p>2-5-2. 教訓共有・課題解決会議 実施日: 2017年11月16日(ソソ郡), 11月21日(フアムアン郡) 内容: 活動進捗状況の共有, 村落における健康に関する問題点の共有と協議, 次年度に向けた改善案などを話し合った。【添付資料②参照】 参加者と人数: ソソ郡16名, フアムアン郡25名(県・郡行政職員, 県・郡保健局職員, ヘルスセンタースタッフ, グループ村長など)</p> <p>3. IMC (Implementation Management Committee, プロジェクト実施管理委員会*) ミーティング 実施日: 2017年11月29日 内容: 事業進捗状況の共有, 村落における健康に関する問題点の共有と協議, 次年度に向けた改善案などを検討した。また, Sustainabilityについての具体的アクションや, 県・郡保健局とMdmのコーディネーションの強化についても協議し, 今後のアクションへの提案を出し合った。【添付書類②参照】 参加者と人数: 県・郡副知事, 県・郡保健局, 県外務局など26名とMdm職員7名</p>									
<p>(3) 達成された成果</p>	<p>*各指標番号は、事業内容の各活動番号に対応する</p> <p>成果1. フアパン県ソソ郡・フアムアン郡における医療施設の医療従事者の小児医療に関する知識、技術の向上を通じ、適切な小児医療が小児(5歳未満児)に提供される。</p> <p>指標1-1. <u>研修受講者14名全員がIMCIトレーナーとして認定された。</u> 本研修(IMCIトレーナー養成)参加者は、指標1-3-1の第1回研修(IMCI臨床)の参加者と同じメンバーであった。臨床研修時は、事後テスト結果で、70点以上取得者が全体の3割弱にとどまったが、トレーナー養成研修時は、事前テストの平均点が約70点に達した。事後テストの平均点は94点を超え、全員が70点以上を取得した。 以上より、上記2回の研修に参加した14名の理解は、研修受講前に比較して飛躍的に向上したといえる。[トレーナーとしての実践結果については指標1-3-1参照] *事前・事後テスト結果:100点満点中(N=14)</p> <table border="1" data-bbox="555 1288 1305 1444"> <thead> <tr> <th></th> <th>平均点</th> <th>70点以上をとった参加者の割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事前テスト結果</td> <td>69</td> <td>42%</td> </tr> <tr> <td>事後テスト結果</td> <td>94.44</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table> <p>指標1-2. <u>1年次予定小児医療備品配備が全対象施設(11施設)で完了した。</u> Donation certificate に署名した施設は、添付書類③参照。</p> <p>指標1-3-1. *研修は合計5回実施した。第1回目の受講者(県・郡病院スタッフ)は、この後に活動1-1(指標1-1)にてトレーナー養成研修を受講した。第2~5回目は、同トレーナー養成研修の受講者が、トレーナーとして実施した研修で、主にヘルスセンタースタッフを対象とした。</p> <p><事前・事後テスト結果 受講者成績分布表> ◆ 第1回 <県・郡病院職員対象:参加者14名 事前テストでは、50点以上取得者が受講者全体の22.5%にとどまったが、事後テストでは、50点以上取得者が全体の94%に達した。 [70点以上取得者が32%にとどまった本研修のフォローアップについては、指標1-1を参照]</p>		平均点	70点以上をとった参加者の割合	事前テスト結果	69	42%	事後テスト結果	94.44	100%
	平均点	70点以上をとった参加者の割合								
事前テスト結果	69	42%								
事後テスト結果	94.44	100%								

100点満点中	50点未満	50～70点	70点以上
事前テスト結果	77.4%	19.3%	3.2%
事後テスト結果	6%	62%	32%

以下、郡病院・ヘルスセンター職員対象の事前・事後テスト結果の平均点および70点以上取得者の割合(100点満点)。

全研修において、事前テスト結果は30点に満たなかったが、事後テスト結果平均点は90点以上であった。全員が満点を取得した研修もあり、受講者全員が70点以上を取得した。このことから、活動1-1においてトレーナーとしての資格を得たスタッフは、研修受講者の重要ポイントの理解を飛躍的に伸ばすに足る指導を行ったといえる。ただし、県レベルのトレーナーの同席による補強があったことと、教授法については、応用のきくスキルとして定着させる必要性がみとめられたことから、次年度に補強が必要である。

◆ 第2回(ソン郡 参加者5名)

	平均点	70点以上をとった参加者の割合
事前テスト結果	21	0
事後テスト結果	97.33	100%

◆ 第3回(ファムアン郡 参加者11名)

	平均点	70点以上をとった参加者の割合
事前テスト結果	22	0
事後テスト結果	100	100%

◆ 第4回(ソン郡 参加者13名)

	平均点	70点以上をとった参加者の割合
事前テスト結果	29	0
事後テスト結果	93	100%

◆ 第5回(ファムアン郡 参加者15名)

	平均点	70点以上をとった参加者の割合
事前テスト結果	22	0
事後テスト結果	99	100%

* 1年次は時期尚早と判断し、村落での評価のための聞き取りは行っていないため、養育者からの意見は指標から除外した。

指標1-4.

ファムアン郡の4か所のヘルスセンタースタッフ全員(合計8名)および郡病院スタッフが、合同監修チームによる現場臨床監修を受けた。また、監修チームである県・郡病院スタッフ2名が、スーパービジョンのあり方、スーパービジョンツールの適切な使用方法について学習した。【添付書類②参照】

成果2. 住民の小児疾病, 疾病予防に対する理解が高まり, 適切な受診行動が促される。

指標2-1-1.

小児疾病に関する村人の理解度レベル, 指標1-3-1のベースラインとなるヘルスセンターサービスへの満足度, その他のニーズを把握し報告書にまとめた。VHC研修計画への提案書を作成した。【添付書類②参照】

指標2-1-2.

1年次:対象者全員に教材配布を完了した。

指標2-2.

研修受講者16名全員が, 研修で健康教育技能を修得した。事前テストでは 60 点以上を取得した受講者が全体の 25%であったのに対し, 事後テストでは, 80%を超える参加者が 60 点以上を取得した。

<事前・事後テスト結果 受講者成績分布表>

100 点満点中	40 点以上 60 点未満	60 点以上
事前テスト結果	75%	25%
事後テスト結果	19%	81%

* 講師との間で理解に行き違いが生じ, 70点以上と70点未満を区別することが不可能であった(中間報告書作成過程で既説明)

指標2-3.

2郡ともに, 事前テストよりも事後テストの点数が向上したことから, 受講前よりも受講後の理解度が高まったことがわかる。【添付書類②参照】

フアムアン郡:事前テスト結果平均48. 68点, 事後テスト結果平均93. 41点

ソン郡:事前テスト結果平均56. 78点, 事後テスト結果平均83. 33点

* 郡保健局トレーナーと相談のうえ, 指標を変更した。

指標2-4.

1年次のVHC研修実施中にMoUに記載した97村すべての対象村落に配布を完了した。(2年次に継続する予定だった配布を前倒しで実施した)

指標2-5-1.

本活動開始時期を2年次以降にしたため, 指標に該当する活動なし。

指標2-5-2.

1年次活動から抽出された課題に対し, 郡行政レベルで具体的なアクションプランが策定された(アクションプラン策定)。

アクションプランは, 指標 3-1 にて記録・集約した。【添付書類②参照】

指標2-6.

3年次の指標のみ

成果3. 関係者全員が問題を把握し, 解決手段を考え, 実行する

指標3-1.

1年次活動から抽出された課題に対し, 県行政レベルで具体的なアクションプラン案を抽出し, 議事録にて共有した。【添付書類②参照】

(4) 持続発展性	<p>【添付書類②に関係事項詳細を記述】</p> <ol style="list-style-type: none">1. 5歳未満児に対する診療技術の向上 県・郡各レベルにおいて、小児医療に関するトレーナーが育成された。したがって、今後もヘルスセンターレベルに小児医療研修を継続実施していく基盤ができた。 共同監督活動の定例化を図り、配布した医療備品の維持管理状況チェックおよび使用方法の再指導、既学習内容の定着化に取り組む。2. 村落における小児医療に関する正しい知識の普及 各村から5名が研修受講者として研修に参加した。1年次は基本的な知識の提供にとどまったが、2年次以降、VHCメンバーらが健康に関する各村の課題に対し、アクションプランが立てられるよう、より実践的な研修を提供していく。 健康教育トレーナーも県・郡各レベルで育成したため、VHC研修企画・実施は彼らのリーダーシップのもと進めていく。3. 関係者全員が問題を把握し、解決手段を考え実行する 第1回IMC会議において、本事業におけるSustainabilityについて具体的に話し合った。村落レベルでの健康普及活動継続のためには、VHCとヘルスセンターのイニシアティブが必須であるとの意見が出、また、それを引き出すためのシステムを作る責任は郡保健局にある、との意見にほぼ参加者全員が同意した。さらに、モニタリング・評価の実施を2018年から本格化することを関係者全員で確認した。 残り2年をかけて、本事業では郡保健局の企画力をサポートし、持続する地域医療体制の強化を目指す。
-----------	--

完了報告書記載日：2018年4月27日

団体代表者名：理事 オスタン・ガエル・マリー クリストフ